

設 計 書

災害関連地域防災 がけ崩れ対策事業	課 長		課 長 補 佐		課 長 補 佐		係 長		審 査 者		設 計 者	
年 月 日	令 和 7 年 月 日					工 事 概 要	延長 L=12.0m 土 工 1式 法面整形工 1式 法 枠 工 1式 排水構造物工 1式 コンクリート工 1式 雑 工 1式 仮 設 工 1式					
工 事 番 号	第 号											
河 川 名 路 線 名												
施 行 位 置	阿久根市 波留 地内											
工 事 名	令和6年度 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業 鷲ヶ峯地区 がけ崩れ対策工事											
工 期	190日間	施 行 方 法		直 営 ・ 請 負								
支 出 科 目	年 度	会 計		款		項	目		節			
	区 分		金 額			摘 要						
	設 計 額		円									
其 の 他	令和6年7月の豪雨により土砂災害が発生したことから、さらなる被害拡大を防ぐために実施するものである。											

費 用	金 額	備 考
事 業 費	円	
工 事 費	円	
本 工 事 費	円	工事価格 円 消費税 相当額 円
附 帯 工 事 費		
測 量 及 び 試 験 費		
用 地 費 及 び 補 償 費		
換 地 諸 費 又 は 権 利 交 換 諸 費		
事 務 費		
事 務 雑 費		
工 事 雑 費		

工 事 設 計 書			
設計書総括情報			
事 務 所 名	阿久根市		
設 計 書 名	実施設計書		
事 業 名			
積算総括情報			
諸 経 費 体 系	A 公共		
適用単価区分	1 実施単価		
単価適用地区	31 北薩③		
単 価 適 用 日	0 令和 7年 5月 1日		
積算条件／諸経費情報	【 当 世 代 】		【 前 世 代 】
前払率 (%)	4 0 %		
工種	0 7 砂防・地滑り等		
施工地域	0 9 補正無し		
現場環境改善費	0 2 計上有り（市街地以外）		
消費税税率	0 4 消費税税率：1 0 %		
契約保証	0 1 金銭的保証を要す		

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							X1000
斜面对策	レベル 1						Y29000000
				式			
砂防土工	レベル 2						Y29010000
				式			
掘削工	レベル 3						Y29010100
				式			
掘削 (土砂)							Y29010101
				式			
土砂掘削 (上記以外(小規模))							SQZ001 0
標準 積込 (ルーズ) 土砂 小規模(標準)		60		m 3			施工内訳0-0001号表
							SQZ007 0
土砂運搬(小規模) 運搬距離1.5km超2.5km以下, DID無し 積込:バックホ山積0.28m3(平積0.2m3)		60		m 3			施工内訳0-0002号表
							SQZ002 0
処分費(直工内)		60		m3			施工内訳0-0003号表
							#0042

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建設発生土受入料					F0001 0
	60	m3			
法面整形工 レベル 3					Y29010L00
		式			
法面整形（切土部）					Y29010L01
		式			
切土部法面整形 砂質土、砂及び砂質土、粘性土 現場制約有り					SQZ029 0
	280	m ²			施工内訳0-0004号表
法面工 レベル 2					Y290B0000
		式			
法枠工 レベル 3					Y290B0B00
		式			
吹付枠					Y290B0B0B
		式			
ラス張工（吹付枠工） 250m ² 以上 500m ² 未満					S8519 0
	185	m ²			施工内訳0-0005号表
吹付枠工（面積） モルタル吹付 300×300 100m以上 250m未満					S8520 0
	185	m ²			施工内訳0-0006号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル吹付工（法枠内吹付） 吹付厚 7 c m 1 0 0 m ² 未満	40	m ²			S8425 0 施工内訳0-0008号表
植生基材吹付工 3 c m 1 0 0 m ² 以上 2 5 0 m ² 未満 法枠内吹付の場合	78	m ²			S8428 0 施工内訳0-0009号表
硬質塩ビ管 V P 5 0	14	m			T0042 0
鉄筋挿入工（ロックボルト工） 削孔長1.6m 削孔径50mm G=4860 H=30504 I=5130	4	本			S8925 0 施工内訳0-0010号表
鉄筋挿入工（ロックボルト工） 削孔長2.1m 削孔径50mm G=5470 H=30504 I=5130	2	本			S8925 0 施工内訳0-0012号表
鉄筋挿入工（ロックボルト工） 削孔長2.6m 削孔径50mm G=6090 H=30504 I=5130	17	本			S8925 0 施工内訳0-0013号表
摺り付け レベル 3		式			Y290B0B00
植生基材吹付工 3 c m 1 0 0 m ² 以上 2 5 0 m ² 未満 通常の場合	90	m ²			S8428 0 施工内訳0-0014号表
排水構造物工 レベル 2		式			Y2E100000

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝工 レベル 3						Y2E100600
			式			
プラスチックU型側溝						Y2E100601
			式			
プラスチックU型側溝 設置工 水路用 300×300 (2m)						S7011 0
	1	m				施工内訳0-0015号表
床掘り 土砂, 現場制約あり						SQZ012 0
	0.3	m3				施工内訳0-0016号表
埋戻し 現場制約あり 土砂, 締固め有り						SQZ016 0
	0.2	m3				施工内訳0-0017号表
プラスチックU型側溝 設置工 水路用 300×300 (2m)						S7011 0
	3	m				施工内訳0-0015号表
床掘り 土砂, 上記以外(小規模)						SQZ012 0
	0.8	m3				施工内訳0-0018号表
埋戻し 上記以外(小規模) 土砂						SQZ016 0
	0.5	m3				施工内訳0-0019号表
縦排水溝						Y2E100601
			式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル吹付工 吹付厚 7 c m 1 0 0 m ² 未満							S8425 0
		5	m ²				施工内訳0-0020号表
跳水防止版							F0002 0
		2	枚				
コンクリート工 レベル 2							Y2E0S0000
				式			
張りコンクリート工 レベル 3							Y2E0S0100
				式			
張りコンクリート工							Y2E0S0101
				式			
張りコンクリート工 (防草コンクリート) 人力打設 (-1.0≦H≦1.0かつW≦1.0)							S1421 0
		1	式				施工内訳0-0021号表
雑工 レベル 2							Y2154
雑工							Y3154
構造物とりこわし工							Y4139

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート舗装版切断 コンクリート舗装版厚15cm以下						SQZ185 0
	19	m				施工内訳0-0026号表
構造物とりこわし工 無筋構造物 人力施工						S7031 0
	1	m 3				施工内訳0-0027号表
殻運搬コンクリート(無筋)構造物とりこわし 運搬距離5.7km超8.0km以下, DID無し 機械積込						SQZ101 0
	1	m3				施工内訳0-0028号表
処分費(直工内)						#0042
産業廃棄物受入料 コンクリート塊(無筋) 産業廃棄物税上乗せ相当額を含む C=2300						S9910 0 *
	1	m3				施工内訳0-0029号表
仮設工 レベル2						Y291A0000
			式			
工事用道路工 レベル3						Y291A0100
			式			
(敷砂利)						Y291A010B
			式			
再生碎石(RC-40)						T9106 0
	8	m 3				

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
整地（敷均し（ルス）） 標準（10,000m3未満）障害無し					SQZ003 0
	8	m3			施工内訳0-0030号表
路面覆工 レベル3					Y291A0B00
		式			
（覆工板・覆工板受桁）					Y291A0B0B
		式			
覆工板・覆工板受桁 設置工 作業能力 3 4 m ² / 日					S1952 0
	7	m ²			施工内訳0-0031号表
鋼製マット賃料 鋼製マット1. 2 型 使用回数1回 供用日数190日					S1907 0
	7	m ²			施工内訳0-0033号表
鋼製山留材 賃料 鋼製山留材 H-2 5 0 使用回数1回 供用日数190日					S1904 0
	0.6	t			施工内訳0-0034号表
フェンス工					Y3306
フェンス撤去・再設置 W=4.0m N=1本（支柱斫り）2箇所 フェンス組立 基礎埋込 鉄筋・塀ブロック含む					F0003 0
	1	式			
防止柵工 レベル3					Y0B0V0100
		式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事中防護柵工 急傾斜事業 H=5.0m 土留板 木材支柱（杉材使用） 土留材料 杉板 200×20×3.6 設置撤去込み	20	m			S4821 0 施工内訳0-0035号表
＊＊直接工事費＊＊					
現場環境改善費					Z0010
共通仮設費（ 率分）		式			
＊＊共通仮設費計＊＊		式			
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費		式			
＊＊現場管理費計＊＊					
＊＊工事原価＊＊					

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費						
			式			
契約保証費						
			式			
＊＊一般管理費等計＊＊						
＊＊工事価格＊＊						
消費税相当額						
			式			
＊＊請負工事費＊＊						
工事価格計						
消費税相当額計						
			式			
請負工事費計						

土砂掘削（上記以外(小規模)）

SQZ001

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0001号表

機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 標準 市場単価構成比： 標準単価： 1 m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次 山積0. 2 8 m 3			バックホウ 山積0. 2 8 m3 クローラ型 [標準型・排ガス2次]		MB402P
運転手（特殊）			運転手（特殊）		R1400
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

土砂掘削（上記以外(小規模)）

SQZ001

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0001号表

機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 標準
市場単価構成比： 標準単価： 1 m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
A=1 E=7 土砂 標準			B=5 I=1 上記以外(小規模) Ⅱ-1-②-7		

積込（ルーズ）
土砂
機械構成比：

SQZ007
小規模(標準)
労務構成比：

材料構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0002号表

1
標準単価：
m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次 山積0. 2 8 m 3			バックホウ 山積0. 2 8 m3 クローラ型 [標準型・排ガス2次]		MB402P
運転手（特殊）			運転手（特殊）		R1400
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

積込（ルーズ）
土砂
機械構成比：

SQZ007
小規模(標準)

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0002号表

1
m 3 当り

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単 価 (東京地区)	備 考
A=1 C=1 土砂 Ⅱ-1-②-27			B=4 小規模(標準)		

土砂運搬(小規模)

運搬距離1.5km超2.5km以下, DID無し

機械構成比:

労務構成比:

SQZ002

積込:バックホ山積0.28m3(平積0.2m3)

材料構成比:

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0003号表

1

m3 当り

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む			ダンプトラック 4 t 積級 オンロード・ディーゼル タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む		M1004P
運転手 (一般)			運転手 (一般)		R1500
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

土砂運搬(小規模)
運搬距離1.5km超2.5km以下, DID無し
機械構成比: 労務構成比:

SQZ002
積込: バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)
材料構成比:

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0003号表

1
m3 当り
標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=13 1.5km超2.5km以下			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 無し G=1 II-1-②-13		

切土部法面整形
ㄟ質土、砂及び砂質土、粘性土
機械構成比：

SQZ029
現場制約有り

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0004号表

1
m² 当り
標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
普通作業員			普通作業員		R0200
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=2 切土部 D=2 ㄟ質土、砂及び砂質土、粘性土			C=1 有り E=1 II-2-①-4		

ラス張工（吹付砕工）
2 5 0 m²以上 5 0 0 m²未満

S8519

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0005号表

頁0-0019

100 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ラス張工 ラス・アンカーピン設置	100.00	m ²			TA413 市場単価
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=3 D=1 2 5 0 m ² 以上 5 0 0 m ² 未満 吹付砕工の場合			B=1 E=1 標準の場合 VI-2-④-13		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
吹付砕工（砕長） モルタル吹付 300×300 100m以上 250m未満	107.40	m			S8518 施工内訳0-0007号表 市場単価
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=2 モルタル吹付 C=3 100m以上 250m未満 F=107.4 吹付砕工 100m ² 当り数量：m			B=3 300×300 D=1 標準の場合 G=0 水切コンクリート 100m ² 当り数量：m3		
H=0 表面コテ仕上 100m ² 当り数量：m ² J=1 VI-2-④-14			I=0 間詰コンクリート 100m ² 当り数量：m3		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
吹付砕工 梁断面300×300	100.00	m			TA396 市場単価
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			
A=2 モルタル吹付 C=3 100m以上 250m未満 E=1 VI-2-④-13			B=3 300×300 D=1 標準の場合		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル吹付工 厚 7 c m	100.00	m ²			T8408 市場単価
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=3 吹付厚 7 c m C=1 制限しない場合 F=1 VI-2-④-1			B=5 1 0 0 m ² 未満 E=2 法枠内吹付の場合		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植生基材吹付工 厚 3 cm	100.00	m ²			T8418 市場単価
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=1 植生基材吹付工 3 cm C=1 制限しない場合 F=2 法枠内吹付の場合			B=4 1 0 0 m ² 以上 2 5 0 m ² 未満 E=1 4 5 m以下又は植生基材以外 G=1 VI-2-④-1		

鉄筋挿入工（ロックボルト工）
削孔長1.6m

S8925
削孔径50mm

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0010号表

100 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
♪鉄筋挿入工（ロックボルト工） 現場条件Ⅰ 材料費含まず	160.00	m			S8926 施工内訳0-0011号表
鋼材	100.00	本			
グラウト注入材	0.44	m ³			
頭部処理の材料費	100.00	箇所			
*** 合 計 ***	100	本			
*** 単位当り計 ***	1	本			
A=1 現場条件Ⅰ C=50 削孔径(mm)：Ⅰ、Ⅱ・(Ⅲ)(42≦φ≦65(50)) E=1 制限しない場合			B=1.6 削孔長(m/本)：Ⅰ、Ⅱ・(Ⅲ)(1≦L≦5(2)) D=3 100m未満 F=1 法面垂直高が20m以下の場合		
G= 鋼材の単価(円/本) I= 頭部処理の材料費(円/箇所)			H= グラウトの単価(円/m ³) J=1 VI-2-⑭-1		

♪鉄筋挿入工（ロックボルト工）

S8926

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0011号表

現場条件Ⅰ	材料費含まず	1	m	当り
-------	--------	---	---	----

[illegible]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
♪鉄筋挿入工（ロックボルト工） 現場条件Ⅰ 材料費含まず	210.00	m			S8926 施工内訳0-0011号表
鋼材	100.00	本			
グラウト注入材	0.58	m ³			
頭部処理の材料費	100.00	箇所			
*** 合 計 ***	100	本			
*** 単位当り計 ***	1	本			
A=1 現場条件Ⅰ C=50 削孔径(mm)：Ⅰ、Ⅱ・(Ⅲ)(42≦φ≦65(50)) E=1 制限しない場合			B=2.1 削孔長(m/本)：Ⅰ、Ⅱ・(Ⅲ)(1≦L≦5(2)) D=3 100m未満 F=1 法面垂直高が20m以下の場合		
G= 鋼材の単価 (円／本) I= 頭部処理の材料費 (円／箇所)			H= グラウトの単価 (円／m ³) J=1 VI-2-⑭-1		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
♪鉄筋挿入工（ロックボルト工） 現場条件Ⅰ 材料費含まず	260.00	m			S8926 施工内訳0-0011号表
鋼材	100.00	本			
グラウト注入材	0.71	m ³			
頭部処理の材料費	100.00	箇所			
*** 合 計 ***	100	本			
*** 単位当り計 ***	1	本			
A=1 現場条件Ⅰ C=50 削孔径(mm)：Ⅰ、Ⅱ・(Ⅲ)(42≦φ≦65(50)) E=1 制限しない場合			B=2.6 削孔長(m/本)：Ⅰ、Ⅱ・(Ⅲ)(1≦L≦5(2)) D=3 100m未満 F=1 法面垂直高が20m以下の場合		
G= 鋼材の単価 (円／本) I= 頭部処理の材料費 (円／箇所)			H= グラウトの単価 (円／m ³) J=1 VI-2-⑭-1		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植生基材吹付工 厚 3 cm	100.00	m ²			T8418 市場単価
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=1 植生基材吹付工 3 cm C=1 制限しない場合 F=1 通常の場合			B=4 1 0 0 m ² 以上 2 5 0 m ² 未満 E=1 4 5 m以下又は植生基材以外 G=1 VI-2-④-1		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
U型側溝 L=2000 [手間] 1000kg／個以下 時間的制約 無し 昼間単価	10.00	m			TB411
かぶせ蓋式U型側溝 (水路用) 300×300×2000	4.98	個			T1283
諸雑費	1	式			#10
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			
A=1 布設 (新材) C=16 水路用 300×300 (2m) E=3 基礎工なし I=1 無し			B=2 シラスコンクリート製品以外 D=1 一般的な作業 H=1 昼間単価 J=1 VI-1-⑥-1		

床掘り
土砂，現場制約あり
機械構成比：

SQZ012

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0016号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
普通作業員			普通作業員		R0200
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=1 土砂 E=1 II-1-③-4			B=6 現場制約あり		

埋戻し
現場制約あり
機械構成比：

労務構成比：

SQZ016
土砂，締固め有り

材料構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0017号表

1
標準単価：

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
タンパ賃料 6 0 ～ 8 0 kg			タンパ及びランマ 質量 6 0 ～ 8 0 kg		T0440
普通作業員			普通作業員		R0200
特殊作業員			特殊作業員		R0100
ガソリン			ガソリン レギュラー スタンド		T0001
積算単価			積算単価		EP001

埋戻し
現場制約あり
機械構成比：

労務構成比：

SQZ016
土砂，締固め有り

材料構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0017号表

1
標準単価：

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
*** 単位当り計 ***					
A=6 C=1 現場制約あり 有り			B=1 D=1 土砂 Ⅱ-1-③-13		

床掘り
土砂，上記以外(小規模)
機械構成比：

SQZ012

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0018号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

1
標準単価：

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス2次 山積0. 2 8 m 3			バックホウ 山積0. 2 8 m3 クローラ型 [後方超小旋回型・排ガス2次]		MB425P
運転手（特殊）			運転手（特殊）		R1400
普通作業員			普通作業員		R0200
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001

床掘り
土砂，上記以外(小規模)
機械構成比：

SQZ012

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0018号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

1
標準単価：

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
*** 単位当り計 ***					
A=1 土砂 E=1 II-1-③-4			B=5 上記以外(小規模)		

埋戻し
上記以外(小規模)
機械構成比：

労務構成比：

土砂

SQZ016

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0019号表

1

m3

当り

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス2次 山積0. 2 8 m 3			バックホウ 山積0. 2 8 m3 クローラ型 [後方超小旋回型・排ガス2次]		MB425P
タンパ及びランマ 質量6 0 ～ 8 0 k g			ランマ 質量6 0 ～ 8 0 k g		M3606P
普通作業員			普通作業員		R0200
特殊作業員			特殊作業員		R0100
運転手（特殊）			運転手（特殊）		R1400

埋戻し
上記以外(小規模)
機械構成比：

土砂

SQZ016

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0019号表

1

m3 当り

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
ガソリン			ガソリン レギュラー スタンド		T0001
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=5 D=1 上記以外(小規模) Ⅱ-1-③-13			B=1 土砂		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル吹付工 厚 7 c m	100.00	m ²			T8408 市場単価
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=3 吹付厚 7 c m C=1 制限しない場合 F=1 VI-2-④-1			B=5 1 0 0 m ² 未満 E=1 通常の場合		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
♪張りコンクリート工（型枠工） 防草コンクリート	1.15	m ²			S1423 施工内訳0-0022号表
♪張りコンクリート工（コンクリート打設） 18－8－20（高炉） 目地材：有り 人力打設（-1.0≦H≦1.0かつW≦1.0）	14.00	m ²			S1424 施工内訳0-0023号表
♪張りコンクリート工（養生） 防草コンクリート	14.00	m ²			S1425 施工内訳0-0025号表
*** 単位当り計 ***	1	式			
A=3 防草コンクリート D=8 人力打設（-1.0≦H≦1.0かつW≦1.0） F=14 コンクリート打設表面積（m ² ）			B=1 無（土工で基面整正を計上） E=1.151 型枠面積（m ² ） G=100 張りコンクリート平均厚（mm）		
H=1 18－8－20（高炉） K=1 II-4-③-1			I=1 有り		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.43	人			R2500 1
型わく工	0.86	人			R3300 1
普通作業員	0.52	人			R0200 1
諸雑費	12.00	%			#01
*** 合 計 ***	10	㎡			
*** 単位当り計 ***	1	㎡			
A=3 防草コンクリート			B=1	Ⅱ-4-④-4	

施 工 内 訳 表

♪張りコンクリート工（コンクリート打設）

S1424

施工内訳0-0023号表

1 8 - 8 - 2 0 （高炉） 目地材:有り

人力打設（-1.0≦H≦1.0かつW≦1.0）

100

m²

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.00	人			R2500 1
普通作業員	3.20	人			R0200 1
生コン単価（高炉セメントB） 強度（1 8 - 2 0） スランプ（ 8 cm）	12.10	m3			S1401 施工内訳0-0024号表
諸雑費	3.00	%			#01
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=3 防草コンクリート C=100 コンクリート平均厚（mm） E=1 有り			B=8 人力打設（-1.0≦H≦1.0かつW≦1.0） D=1 1 8 - 8 - 2 0 （高炉） G=1 <u>II-4-③</u> -1		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
生コンクリート 18－8－20（普通）	1.0	m3			T0921
高炉Bセメント補正	1.0	m3			T0900
*** 単位当り計 ***	1	m3			
A=3 高炉セメント（B） C=2 スランプ（8cm）			B=1 強度（18－20） D=1 公共単価		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.09	人			R2500 1
普通作業員	0.31	人			R0200 1
諸雑費	2.00	%			#01
*** 合 計 ***	100	㎡			
*** 単位当り計 ***	1	㎡			
A=3 防草コンクリート			B=1	Ⅱ-4-④-6	

コンクリート舗装版切断
コンクリート舗装版厚15cm以下
機械構成比：

SQZ185

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0026号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音)・湿式] 切削深20cm級 ブレード径56cm			コンクリートカッター [バキューム式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級 ブレードφ56cm		M4737P
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員			特殊作業員		R0100
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
普通作業員			普通作業員		R0200

コンクリート舗装版切断
コンクリート舗装版厚15cm以下
機械構成比：

SQZ185

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0026号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1

m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
その他 (労務)			その他 (労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 4 5 cm			コンクリートカッタ (ブレード) 径 1 8 インチ		T0094
ガソリン			ガソリン レギュラー スタンド		T0001
その他 (材料)			その他 (材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001

コンクリート舗装版切断
コンクリート舗装版厚15cm以下
機械構成比：

SQZ185

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0026号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1

m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
*** 単位当り計 ***					
A=2 コンクリート舗装版 E=1 IV-3-③-1			C=1 15cm以下		

構造物とりこわし工
無筋構造物 人力施工

S7031

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0027号表

頁0-0046

100 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物とりこわし工 無筋構造物 [手間] 人力施工 時間的制約 無し 昼間単価	100.00	m 3			TC201
諸雑費	1	式			#20
*** 合 計 ***	100	m 3			
*** 単位当り計 ***	1	m 3			
A=1 無筋構造物 D=1 昼間単価 F=1 VI-1-④-1			B=2 人力施工 E=1 無し		

殻運搬コンクリート(無筋)構造物とりこわし
運搬距離5.7km超8.0km以下, DID無し
機械構成比: 労務構成比:

SQZ101
機械積込
材料構成比:

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0028号表

1
m3 当り
標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む			ダンプトラック 10 t 積級 オンロード・ディーゼル タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む		M1011P
運転手 (一般)			運転手 (一般)		R1500
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
A=1 C=1 E=1 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 無し II-2-25-1			B=1 D=34 機械積込 5.7km超8.0km以下		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物受入料	1.00	m3			
*** 単位当り計 ***	1	m3			
A=3 C= コンクリート塊（無筋） 受入料金（円／単位）			B=1 m3当り		

整地（敷均し（ルーズ））
標準（10,000m3未満）障害無し
機械構成比： 労務構成比：

SQZ003

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0030号表

1
m3 当り
標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ賃料 山積0.8 m3			バックホウ クローラ型 山積0.8 m3		T0456
運転手（特殊）			運転手（特殊）		R1400
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

整地（敷均し(ルｽﾞ)）
標準(10,000m3未満) 障害無し
機械構成比：

SQZ003
労務構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0030号表

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
A=2 敷均し(ルｽﾞ) C=1 無し			B=1 標準(10,000m3未満) D=1 Ⅱ-1-②-20		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
クレーン運転費（賃料） R.T.C（油圧）25t吊	2.90	日			SA015 施工内訳0-0032号表
土木一般世話役	2.90	人			R2500 1
とび工	4.60	人			R0600 1
溶接工	2.10	人			R1300 1
普通作業員	5.10	人			R0200 1
諸雑費	4.00	%			#01
*** 合 計 ***	100	㎡			
*** 単位当り計 ***	1	㎡			
A=1 設置 C=1 R T C（油圧）25t吊り（※標準）			B=1 700㎡以下 D=1 II-5-⑥-2		

SA015

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0032号表

1 目 当 り

阿久根市

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼製マット 賃料	1.00	枚			
修理費及び損耗費	1.00	枚			
単位変換		m ²			+00
諸雑費	1				#10
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=4 鋼製マット1．2型 D=190 供用日数 (日) (1080日以内) F=1 II-5-⑥-3			B=1 使用回数 (回) E=2 新品を指定しない		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼製山留材 賃料	1.00	t			
修理費及び損耗費	1.00	t			
諸雑費	1				#10
*** 単位当り計 ***	1	t			
A=2 鋼製山留材 H-250 C=190 供用日数 (日) (1080日以内) E=1 II-5-⑥-3			B=1 使用回数 (回) D=2 新品指定しない場合		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
杉板 幅20cm×厚3.6cm×長 2 m	1.750	m 3			T0717 200×20×3.6×125
** 損料 **		10 m			+00 1
♪工事中防護柵工（木材） 丸太等 H=5.0m 土留板	10	m			S4822 1 施工内訳0-0036号表
** 雑材料 **	10	%			#01
とび工	5.6	人			R0600
普通作業員	9.9	人			R0200
諸雑費	1	式			#10
** m 当り **		m			+00
*** 単位当り計 ***	1	m			
A=9 H=5.0m 土留板 木材支柱 C=1 参-河-17			B=1 杉材使用		

♪工事中防護柵工（木材）
丸太等

S4822
H=5.0m 土留板

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0036号表

頁0-0057

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
杉丸太 末口7～15cm, 長さ4m以下	0.505	m ³			T0741 L=6.0m φ=12cm 5本
杉丸太 末口7～15cm, 長さ4m以下	0.435	m ³			T0741 L=4.0m φ=12cm 7.5本
杉丸太 末口7～15cm, 長さ4m以下	0.290	m ³			T0741 L=4.0m φ=12cm 5本
杉丸太 末口7～15cm, 長さ4m以下	0.110	m ³			T0741 L=1.5m φ=12cm 5本
** 損料 **		m			+00
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			
A=6 C=1 H=5.0m 土留板 参-河-17			B=1 杉材使用		

入力データ一覧表

頁0-0058

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
X1000	＊＊本工事費＊＊			
Y29000000	斜面对策 レベル 1	式		
Y29010000	砂防土工 レベル 2	式		
Y29010100	掘削工 レベル 3	式		
Y29010101	掘削（土砂）	式		
SQZ001	土砂掘削（上記以外（小規模））	60 m ³		A=1, B=5, E=7, I=1 A=土砂, B=上記以外（小規模）, E=標準, I=Ⅱ-1-②-7
SQZ007	積込（ルーズ） 土砂	60 m ³		A=1, B=4, C=1 A=土砂, B=小規模（標準）, C=Ⅱ-1-②-27
SQZ002	土砂運搬（小規模） 運搬距離1.5km超2.5km以下, DID無し	60 m ³		A=2, B=5, C=1, D=1, E=13, G=1 A=小規模, B=バックホウ山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）, C=土砂（岩塊・玉石混り土含む）, D=無し, E=1.5km超2.5km以下, G=Ⅱ-1-②-13
#0042	＊処分費（直工内）＊			
F0001	建設発生土受入料	60 m ³		
Y29010L00	法面整形工 レベル 3	式		
Y29010L01	法面整形（切土部）	式		
SQZ029	切土部法面整形 れき質土、砂及び砂質土、粘性土	280 m ²		A=2, C=1, D=2, E=1 A=切土部, C=有り, D=れき質土、砂及び砂質土、粘性土, E=Ⅱ-2-①-4
Y290B0000	法面工 レベル 2	式		
Y290B0B00	法枠工 レベル 3	式		
Y290B0B0B	吹付枠	式		
S8519	ラス張工（吹付枠工） 2 5 0 m ² 以上 5 0 0 m ² 未満	185 m ²		A=3, B=1, D=1, E=1 A=2 5 0 m ² 以上 5 0 0 m ² 未満, B=標準の場合, D=吹付枠工の場合, E

入力データ一覧表

頁0-0059

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
				=VI-2-④-13
S8520	吹付砕工（面積） モルタル吹付 300×300	185 ㎡		A=2, B=3, C=3, D=1, F=107.4, J=1 A=モルタル吹付, B=300×300, C=100m以上 250m未満 , D=標準の場合, F=吹付砕工 100㎡当り数量：m, J=VI-2-④-14
S8425	モルタル吹付工（法枠内吹付） 吹付厚 7cm	40 ㎡		A=3, B=5, C=1, E=2, F=1 A=吹付厚 7cm, B=100㎡未満, C=制限しない場合, E=法枠内 吹付の場合, F=VI-2-④-1
S8428	植生基材吹付工 3cm 100㎡以上 250㎡未満	78 ㎡		A=1, B=4, C=1, E=1, F=2, G=1 A=植生基材吹付工 3cm, B=100㎡以上 250㎡未満, C=制限 しない場合, E=45m以下又は植生基材以外, F=法枠内吹付の場合, G=VI-2-④-1
T0042	硬質塩ビ管 VP50	14 m		
S8925	鉄筋挿入工（ロックボルト工） 削孔長1.6m	4 本		A=1, B=1.6, C=50, D=3, E=1, F=1, G=, H=, I=, J=1 A=現場条件Ⅰ, B=削孔長(m/本)：Ⅰ, Ⅱ・Ⅲ(1≤L≤5(2)), C=削孔 径(mm)：Ⅰ, Ⅱ・Ⅲ(42≤φ≤65(50)), D=100m未満, E=制限し ない場合, F=法面垂直高が20m以下の場合, G=鋼材の単価（円／本 ）, H=グラウトの単価（円／m3）, I=頭部処理の材料費（円／箇所 ）, J=VI-2-④-1
S8925	鉄筋挿入工（ロックボルト工） 削孔長2.1m	2 本		A=1, B=2.1, C=50, D=3, E=1, F=1, G=, H=, I=, J=1 A=現場条件Ⅰ, B=削孔長(m/本)：Ⅰ, Ⅱ・Ⅲ(1≤L≤5(2)), C=削孔 径(mm)：Ⅰ, Ⅱ・Ⅲ(42≤φ≤65(50)), D=100m未満, E=制限し ない場合, F=法面垂直高が20m以下の場合, G=鋼材の単価（円／本 ）, H=グラウトの単価（円／m3）, I=頭部処理の材料費（円／箇所 ）, J=VI-2-④-1
S8925	鉄筋挿入工（ロックボルト工） 削孔長2.6m	17 本		A=1, B=2.6, C=50, D=3, E=1, F=1, G=, H=, I=, J=1 A=現場条件Ⅰ, B=削孔長(m/本)：Ⅰ, Ⅱ・Ⅲ(1≤L≤5(2)), C=削孔 径(mm)：Ⅰ, Ⅱ・Ⅲ(42≤φ≤65(50)), D=100m未満, E=制限し ない場合, F=法面垂直高が20m以下の場合, G=鋼材の単価（円／本 ）, H=グラウトの単価（円／m3）, I=頭部処理の材料費（円／箇所 ）, J=VI-2-④-1
Y290B0B00	摺り付け レベル3	式		

入力データ一覧表

頁0-0060

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
S8428	植生基材吹付工 3 cm 1 0 0 m ² 以上 2 5 0 m ² 未満	90 m ²		A=1, B=4, C=1, E=1, F=1, G=1 A=植生基材吹付工 3 cm, B= 1 0 0 m ² 以上 2 5 0 m ² 未満, C=制限 しない場合, E= 4 5 m以下又は植生基材以外, F=通常の場合, G=VI-2 -④-1
Y2E100000	排水構造物工 レベル 2	式		
Y2E100600	側溝工 レベル 3	式		
Y2E100601	プレキャストU型側溝	式		
S7011	プレキャストU型側溝 設置工 水路用 3 0 0 × 3 0 0 (2 m)	1 m		A=1, B=2, C=16, D=1, E=3, H=1, I=1, J=1 A=布設 (新材), B=シラスコンクリート製品以外, C=水路用 3 0 0 × 3 0 0 (2 m), D=一般的な作業, E=基礎工なし, H=昼間単価, I=無 し, J=VI-1-⑥-1
SQZ012	床掘り 土砂, 現場制約あり	0.3 m ³		A=1, B=6, E=1 A=土砂, B=現場制約あり, E=II-1-③-4
SQZ016	埋戻し 現場制約あり	0.2 m ³		A=6, B=1, C=1, D=1 A=現場制約あり, B=土砂, C=有り, D=II-1-③-13
S7011	プレキャストU型側溝 設置工 水路用 3 0 0 × 3 0 0 (2 m)	3 m		A=1, B=2, C=16, D=1, E=3, H=1, I=1, J=1 A=布設 (新材), B=シラスコンクリート製品以外, C=水路用 3 0 0 × 3 0 0 (2 m), D=一般的な作業, E=基礎工なし, H=昼間単価, I=無 し, J=VI-1-⑥-1
SQZ012	床掘り 土砂, 上記以外 (小規模)	0.8 m ³		A=1, B=5, E=1 A=土砂, B=上記以外 (小規模), E=II-1-③-4
SQZ016	埋戻し 上記以外 (小規模)	0.5 m ³		A=5, B=1, D=1 A=上記以外 (小規模), B=土砂, D=II-1-③-13
Y2E100601	縦排水溝	式		
S8425	モルタル吹付工 吹付厚 7 c m	5 m ²		A=3, B=5, C=1, E=1, F=1 A=吹付厚 7 c m, B= 1 0 0 m ² 未満, C=制限しない場合, E=通常 の場合, F=VI-2-④-1
F0002	跳水防止版	2 枚		
Y2E0S0000	コンクリート工 レベル 2	式		

入力データ一覧表

頁0-0061

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
Y2E0S0100	張りコンクリート工 レベル 3	式		
Y2E0S0101	張りコンクリート工	式		
S1421	張りコンクリート工（防草コンクリート） 人力打設（ $-1.0 \leq H \leq 1.0$ かつ $W \leq 1.0$ ）	1 式		A=3, B=1, D=8, E=1.151, F=14, G=100, H=1, I=1, K=1 A=防草コンクリート, B=無（土工で基面整正を計上）, D=人力打設（ $-1.0 \leq H \leq 1.0$ かつ $W \leq 1.0$ ）, E=型枠面積（ m^2 ）, F=コンクリート打設 表面積（ m^2 ）, G=張りコンクリート平均厚（mm）, H=18-8-20 （高炉）, I=有り, K=Ⅱ-4-③-1
Y2154	雑工 レベル 2			
Y3154	雑工			
Y4139	構造物とりこわし工			
SQZ185	コンクリート舗装版切断 コンクリート舗装版厚15cm以下	19 m		A=2, C=1, E=1 A=コンクリート舗装版, C=15cm以下, E=Ⅳ-3-③-1
S7031	構造物とりこわし工 無筋構造物 人力施工	1 m 3		A=1, B=2, D=1, E=1, F=1 A=無筋構造物, B=人力施工, D=昼間単価, E=無し, F=Ⅵ-1-④-1
SQZ101	殻運搬コンクリート（無筋）構造物とりこわし 運搬距離5.7km超8.0km以下, DID無し	1 m3		A=1, B=1, C=1, D=34, E=1 A=コンクリート（無筋）構造物とりこわし, B=機械積込, C=無し, D=5.7km超8 .0km以下, E=Ⅱ-2-25-1
#0042	*処分費（直工内）*			
S9910	産業廃棄物受入料 コンクリート塊（無筋）	1 m3		A=3, B=1, C= A=コンクリート塊（無筋）, B=m3当り, C=受入料金（円／単位）
Y291A0000	仮設工 レベル 2	式		
Y291A0100	工事用道路工 レベル 3	式		
Y291A010B	（敷砂利）	式		
T9106	再生碎石（RC-40）	8 m 3		

入力データ一覧表

頁0-0062

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
SQZ003	整地（敷均し（ルース）） 標準（10,000m3未満）障害無し	8 m3		A=2, B=1, C=1, D=1 A=敷均し（ルース）, B=標準（10,000m3未満）, C=無し, D=Ⅱ-1-②-20
Y291A0B00	路面覆工 レベル3	式		
Y291A0B0B	（覆工板・覆工板受桁）	式		
S1952	覆工板・覆工板受桁 設置工 作業能力 3 4 m ² ／ 日	7 m ²		A=1, B=1, C=1, D=1 A=設置, B=7 0 0 m 2 以下, C=R T C （油圧） 2 5 t 吊り（※標準） D=Ⅱ-5-⑥-2
S1907	鋼製マット賃料 鋼製マット1．2型	7 m ²		A=4, B=1, D=190, E=2, F=1 A=鋼製マット1．2型, B=使用回数（回）, D=供用日数（日）（1080日以内）, E=新品を指定しない, F=Ⅱ-5-⑥-3
S1904	鋼製山留材 賃料 鋼製山留材 H－2 5 0	0.6 t		A=2, B=1, C=190, D=2, E=1 A=鋼製山留材 H－2 5 0, B=使用回数（回）, C=供用日数（日）（1080日以内）, D=新品指定しない場合, E=Ⅱ-5-⑥-3
Y3306	フェンス工			
F0003	フェンス撤去・再設置 W=4.0m N=1本（支柱斫り）2箇所	1 式		
Y0B0V0100	防止柵工 レベル3	式		
S4821	工事中防護柵工 急傾斜事業 H=5.0m 土留板 木材支柱（杉材使用）	20 m		A=9, B=1, C=1 A=H=5.0m 土留板 木材支柱, B=杉材使用, C=参-河-17
G0000	**直接工事費**			
Z0010	現場環境改善費	式		
Z0050	共通仮設費（率分）	式		
G1000	**共通仮設費計**			
G2000	**純工事費**			

入力データ一覧表

頁0-0063

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称
Z0020	現場管理費	式		
G2900	＊＊現場管理費計＊＊			
G4000	＊＊工事原価＊＊			
Z0030	一般管理費	式		
Z0031	契約保証費	式		
G4100	＊＊一般管理費等計＊＊			
G4800	＊＊工事価格＊＊			
Z0038	消費税相当額	式		
G5000	＊＊請負工事費＊＊			
G6000	工事価格計			
Z0039	消費税相当額計	式		
G4900	請負工事費計			

登録単価一覧表

頁0-0064

[illegible]

機 材 集 計 表

頁0-0065

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	M1004P	191		2.4000	供用日	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	運搬・荷役機械等
2	M1011P	191		0.0300	供用日	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	運搬・荷役機械等
3	M3606P	193		0.0250	供用日	タンパ及びランマ	路盤用・舗装用機械等
4	M4737P	193		0.1900	供用日	コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音)・湿式]	路盤用・舗装用機械等
5	MB402P	190		4.8000	供用日	バックホウ (クローラ型) [標準型]	掘削・積込機械等
6	MB425P	190		0.0600	供用日	バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回]	掘削・積込機械等
7	R0100	202		0.2110	人	特殊作業員	労務単価
8	R0200	202		37.7522	人	普通作業員	労務単価
9	R0600	202		11.5220	人	とび工	労務単価
10	R1300	202		0.1470	人	溶接工	労務単価
11	R1400	202		3.0340	人	運転手 (特殊)	労務単価
12	R1500	202		2.4300	人	運転手 (一般)	労務単価
13	R2500	202		3.2050	人	土木一般世話役	労務単価
14	R3300	202		0.0989	人	型わく工	労務単価
15	T0001	221		3.9460	L	ガソリン	3-1 燃料類
16	T0002	221		184.9780	L	軽油	3-1 燃料類
17	T0042	274		14.0000	m	硬質塩ビ管	11-1 諸材料
18	T0094	262		0.1900	枚	コンクリートカッターブレード	9-4 ビット・ロッド
19	T0405	382		0.2030	日	ラフレンクレーン作業料金 長期割引	建設機械賃料
20	T0440	382		0.0080	日	タンパ賃料	建設機械賃料
21	T0456	382		0.0000	日	バックホウ賃料	建設機械賃料
22	T0717	292		0.7000	m 3	杉板	16-1 木材
23	T0741	292		0.5360	m 3	杉丸太	16-1 木材
24	T0900	214		1.6940	m 3	高炉Bセメント補正	1-2 生コン補正
25	T0921	215		1.6940	m 3	生コンクリート	1-3 生コンクリート
26	T1283	235		1.9920	個	かぶせ蓋式U型側溝 (水路用)	6-3 鉄筋コンクリートU型溝・蓋版
27	T8408	333		40.0000	m ²	モルタル吹付工	市場単価 (14) 法面工
28	T8408	333		5.0000	m ²	モルタル吹付工	市場単価 (14) 法面工
29	T8418	333		90.0000	m ²	植生基材吹付工	市場単価 (14) 法面工
30	T8418	333		78.0000	m ²	植生基材吹付工	市場単価 (14) 法面工
31	T9106	230		8.0000	m 3	再生碎石 (RC-40)	5-4 再生碎石
32	TA396	334		198.6900	m	モルタル・コンクリート枠吹付工	市場単価 (15) 吹付枠工
33	TA413	334		185.0000	m ²	ラス張工 [現場吹付法枠工]	市場単価 (15) 吹付枠工
34	TB411	402		4.0000	m	U型側溝 L=2000 [手間]	土木工事標準単価 (3) 排水構造物工
35	TC201	405		1.0000	m 3	構造物とりこわし工 無筋構造物 [手間]	土木工事標準単価 (6) 構造物とりこわし工

使用重機一覧表

頁0-0066

項番	データ コード	施 工 名 称	集 計 コード	使 用 重 機 コ ー ド
1	SQZ001	土砂掘削（上記以外(小規模)）		MB402P
2	SQZ007	積込（ルーズ）		MB402P
3	SQZ002	土砂運搬(小規模)		M1004P
4	SQZ012	床掘り		MB425P
5	SQZ016	埋戻し		MB425P M3606P
6	SQZ185	コンクリート舗装版切断		M4737P
7	SQZ101	殻運搬コンクリート(無筋)構造物とりこわし		M1011P

数量計算表

工種	項 目		計 算 式 (上段：当初，下段：変更)	数量	設計数量	単位	備 考
	種 別	細 別		上段：当初 下段：変更	(上段：当初) (下段：変更)		
施工延長	がけ崩れ対策工事		12.0	12.0	12.0	m m	
		計			12.0		
【本工事】							
土工	掘削工	土砂掘削（上記以外（小規模）） 標準	51.32 + 8.26（構造図その１、仮設工参照）	59.6	60	m3	
		土砂積込（ルーズ） 小規模（標準）	51.32 + 8.26（構造図その１、仮設工参照）	59.6	60	m3	
		土砂運搬（小規模） 運搬距離L=2.0km DID無し	51.32 + 0.35 + 8.26（構造図その１、構造図その３、仮設工参照）	59.9	60	m3	
		建設発生土受入	51.32 + 0.35 + 8.26（構造図その１、構造図その３、仮設工参照）	59.9	60	m3	
法面整形工	法面整形（切土部）	切土部法面整形 現場制約有り	185.40 + 89.86（構造図その１参照）	275.3	280	m2	
法枠工	吹付枠	ラス張工（吹付枠工） 250m2以上500m2未満	185.40（構造図その１参照）	185.4	185	m2	
		吹付枠工（面積）モルタル吹付 300×300 100m以上250m未満	185.40（構造図その１参照）	185.4	185	m2	
		モルタル吹付工（法枠内吹付） 吹付厚7cm 100m2未満	40.36（構造図その１参照）	40.4	40	m2	
		植生基材吹付工 3cm 100m2以上250m2未満 法枠内吹付の場合	78.42（構造図その１参照）	78.4	78	m2	
		硬質塩ビ管 VP50	14.1（構造図その１参照）	14.1	14	m	
		鉄筋挿入工（ロックボルト工） 掘削長1.60m 掘削径50mm L=2.0m	4.0（構造図その１参照）	4.0	4	本	
		鉄筋挿入工（ロックボルト工） 掘削長2.1m 掘削径50mm L=2.5m	2.0（構造図その１参照）	2.0	2	本	
		鉄筋挿入工（ロックボルト） 掘削長2.6m 掘削径50mm L=3.0m	17.0（構造図その１参照）	17.0	17	本	
		植生基材吹付工 3cm 100m2以上250m2未満 通常の場合	89.86（構造図その１参照）	89.9	90	m2	
		排水構造物工	側溝工	ﾌﾚｯｷﾞｽﾄU型側溝 設置工 水路用 300×300（2m）	1.00（構造図その３参照）	1.0	1
床掘り 土砂 現場制約あり	0.30（構造図その３参照）			0.3	0.3	m3	
埋戻し 土砂 現場制約無し	0.2（構造図その３参照）			0.2	0.2	m3	
ﾌﾚｯｷﾞｽﾄU型側溝 設置工 水路用 300×300（2m）	2.5（構造図その３参照）			2.5	3	m3	
床掘り 土砂 上記以外（小規模）	0.75（構造図その３参照）			0.8	0.8	m3	
埋戻し 上記以外（小規模）	0.5（構造図その３参照）			0.5	0.5	m3	
モルタル吹付工（縦排水工） 吹付厚 7cm	4.7（構造図その３参照）			4.7	5	m2	
跳水防止版	2.0（構造図その３参照）			2.0	2	枚	
コンクリート工	張りコンクリート工	人力打設 A=14.04m2 t=10cm	1.0（構造図その３参照）	1.0	1	式	

数量計算表

工種	項 目		計 算 式 (上段：当初，下段：変更)	数量 上段：当初 下段：変更	設計数量 (上段：当初) (下段：変更)	単位	備 考
	種 別	細 別					
雑工	構造物とりこわし工	コンクリート舗装版切断 コンクリート舗装版厚15cm以下	12.88 + 4.02 + 1.94 (構造図その3参照)	18.8	19	m	
		構造物とりこわし工 無筋構造物 人力施工	1.20 (構造図その3参照)	1.2	1	m3	
		殻運搬 運搬距離L=6.8km	1.20 (構造図その3参照)	1.2	1	m3	
		産業廃棄物受入	1.20 (構造図その3参照)	1.2	1	m3	
仮設工	工事用道路	再生砕石 (RC-40)	82.6 × 0.1 (仮設工参照)	8.3	8	m3	
		整地 (敷均し (ルーズ)) 標準 (10,000m3未満) 障害無し	82.6 × 0.1 (仮設工参照)	8.3	8	m3	
	路面覆工	覆工板・覆工板受桁 設置工 作業能力 34m2/日	7.2 (仮設工参照)	7.2	7	m2	
		鋼製マット貫料 鋼製マット1.2型	7.2 (仮設工参照)	7.2	7	m2	
		鋼製山留材 貫料 鋼製山留材 H=250 71.8kg/m2×2×4=574.4kg	0.57 (仮設工参照)	0.57	0.60	t	
	フェンス工	フェンス撤去・再設置 W=4.0m 支柱斫りN=2本 フェンス組立基礎埋込 鉄筋・堀ヅロック含む	1.00 (仮設工参照)	1.0	1	式	
	防護柵工	工事中防護柵 急傾斜事業 H=5.0m 土留板 木材支柱 (杉材使用)	20.00 (仮設工参照)	20.0	20	m	

積算単価根拠表

工 事 名： 令和6年度 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業 鷲ヶ峯地区 がけ崩れ対策工事
工事場所： 阿久根市 波留 地内

公共事業設計単価
建設物価
積算資料
建設機械等損料算定表

令和7年5月1日

コード 番 号	単価コード 名 称	材質 及び 規格・寸法	単 位	決定単価 (円)	公共単価		建設物価		積算資料		建設機械		見積単価 (円)			見積平均価格 (円)	備 考
					(円)	P	(円)	P	(円)	P	(円)	P	A社	B社	C社		
S8925	HDロックボルト	D19 2,000mm SD345	組			111											
S8925	HDロックボルト	D19 2,500mm SD345	組			111											
S8925	HDロックボルト	D19 3,000mm SD345	組			111											

特記仕様書

第1章 総則

(総則)

第1条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。

工 事 名：令和6年度 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業
鷲ヶ峯地区 がけ崩れ対策事業
工事場所：阿久根市 波留 地内

第2条 この工事は、契約図書及び図面によるほか、この特記仕様書ならびに下記仕様書等その他諸法を遵守し施工しなければならない。

なお、本特記仕様書及び共通仕様書、要綱、指針、示方書（最新版）に記載されていない事項で疑義が生じた場合は、別紙「工事打合簿」により監督職員（以下「甲」という。）と協議し、かつその指示に従うこと。

- (1) 土木工事共通仕様書（鹿児島県土木部制定）
- (2) 土木工事施工管理基準（鹿児島県土木部制定）
- (3) 土木請負工事必携（鹿児島県土木部制定）
- (4) 砂防事業設計積算基準（鹿児島県土木部制定）
- (5) 急傾斜地崩壊対策事業の手引き（鹿児島県土木部制定）
- (6) コンクリート標準示方書（土木学会制定）
- (7) コンクリートのポンプ施工指針[平成24年度版]（土木学会）
- (8) グラントアンカー設計・施工基準・同解説（地盤工学会）
- (9) グラントアンカー施工のための手引書（日本アンカー協会）
- (10) 建設副産物適正処理推進要綱<改定>（国土交通省）
- (11) 土木工事安全施工技術指針（国土交通省大臣官房技術調査課）
- (12) その他関係要綱、指針、示方書等

第3条 この工事の契約数量は、別添「本工事内訳書」のとおりとする。

なお、この数量に変更を生じた場合は、甲乙協議のうえ契約変更の対象とする。

ただし、出来形等に係る設計値は図面及び構造物調書のとおりとする。

第4条 契約の保証は、当初請負金額が500万円を超える場合、請負金額の10分の1以上の金銭的保証を要す。

(前払金)

第5条 保証事業会社の保証がなされている請負金額500万円以上のものについては、請負金額の10分の4以内で前払金を請求することができる。

なお、当初設計においては前記の前払金を受けるものとして一般管理費の率を計上してあるが、前払金を受けない場合でも、一般管理費の率は変更の対象としない。

2 次に掲げる要件のいずれにも該当し、前項により前払金の支払いを受けた後、保証事業会社と中間前払金に関する保証がなされたものについては、請負金額の10分の2以内で中間前払金を請求することができる。

ただし、契約に当たり部分払することを選択した場合は、中間前金払を行わないこととする。さらに、前払金と中間前払金との合計は請負金額の10分の6を超えないものと

する。

- (1) 工期の2分の1を経過していること。
- (2) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。
- (3) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。

3 前金払を請求する場合は、請求書に保証事業会社の保証に係る保証証書を添付して提出しなければならない。

(部分払金)

第6条 部分払は、請負金額が500万円以上の場合、2回まで（既に前払いがなされているときは1回迄）行えるものとする。ただし、中間前金払があるときは、原則として部分払いは行わない。

(工事カルテ作成、登録)

第7条 請負者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、実績情報システム（CORINS）に基づき、受注・変更・完成時に工事実績情報として「通知書」を作成し監督職員の確認を受けた上、受注時は契約後10日以内（土、日、祝日等を除く）に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内（土、日、祝日等を除く）に、完成時は工事完成後10日以内（土、日、祝日等を除く）に（財）日本建設情報総合センターに登録しなければならない。

変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金2,500万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。

また、登録完了後は、（財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

(電子納品)

第8条 本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「阿久根市電子納品ガイドライン（案）（令和4年1月）：（以下「ガイドライン」という。）」に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。

【阿久根市ウェブサイト】

ホーム > 市政情報 > 施策・計画 > 土木・建築・交通 > 電子納品

2 ガイドラインに基づき作成した電子成果品は、電子媒体で正本・副本各1部の計2部提出する。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定する。

(技術者)

第9条 請負者は、測量・調査・施工管理・検査のために専属して経験のある技術者を常置し、監督職員の指示に応じなければならない。

(監理技術者等の専任を要しない期間)

第10条 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の

搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、打合せ記録簿により明確となっていることを条件に、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定めること。

- 2 工事完成後、検査が終了し、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日（「工事目的物引受書」等における日付）とする。

（配置技術者等の途中交代）

第11条 配置技術者の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。

- (1) 請負者の責によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合
- 2 前1項の場合にあっても、請負者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。

（現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合）

第12条 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下のいずれかの要件を満たす場合に、工事請負契約書第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」ものとして取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や現場保全の義務（現場の巡回等）があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。

- (1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - (2) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間
 - (3) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間。また、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の現場代理人が、これらの製作を一括して運営、取締りを行うことができるものとする。
 - (4) 前3号に掲げる期間のほか、請負者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間
- 2 発注者への報告
前1項の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。

第13条 現場代理人の兼任

- 1 現場代理人の兼任を認める工事

現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項（請負代金の変更、契約の解除等を除く。）を処理する受注者の代理人であるが、次の(1)から(5)のすべてを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。

なお、主たる工種が区画線工事の場合、次の(1)、(2)及び(6)の全てを満たし、工事現場における運営、取り締まり及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合は工事現場の兼任を認めるものとする。

(1) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の当初請負金額の合計が4,500万円未満であること。

※ 設計変更により、兼任する工事の請負金額の合計が4,500万円以上となった場合においては、受注者の都合により現場代理人を変更できるものとする。

(現場代理人の負担軽減措置)

その場合は、「現場代理人等選任(変更)通知書」により現場代理人の変更手続きを行うこと。

(2) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡をとれること。

(3) 兼任する工事は、同一市町村内又は工事現場の相互の間隔が概ね10km以内の範囲であること。

(4) 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。

(5) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。

(6) 兼任する現場代理人は、必ず担当する工事現場のいずれかに常駐するとともに、それぞれの現場稼働日は重複しないこと。

2 現場代理人の兼任を行う場合には、「兼任(変更)申請書(別紙1)」を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、「現場代理人等選任(変更)通知書」により、発注者に通知すること。

なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。

3 安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、請負者に対して、必要な措置をとるべきことを請求するものとする。

(施工体制台帳の作成等について)

第14条 本工事の請負者は、建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督職員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。

(施工体系図の作成等について)

第15条 本工事の請負者は、工事を施工するために、建設工事の一部または以下のアからエの業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督職員に遅滞なく(遅くとも下請工事または業務の着手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。

ア 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務

イ 土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務

ウ 工事現場の警備(交通誘導を含む)を行う業務

エ その他監督職員が記載を指示した業務等

第2章 工事の施工

(国土調査の基準点等測量標識等の保全)

第16条 施工区域内に国土調査の基準点等測量標識等がある場合は、その取り扱いについて監督職員に指示を仰ぐとともに、施工前に設置者と協議すること。

第17条 床掘及び切土

切土の法勾配は、設計図書に示した法勾配で仕上げるものとする。監督職員の承認を受けないで、切りすぎた土量の増については、変更契約の対象にしない。

第18条 盛土及び埋戻

- 1 盛土は常に肩下がりの横断形を保ち、土羽工を先行してはならない。
- 2 盛土施工中は、常に雨水等による土砂流出を起こさないよう、排水処理を考慮し施工すること。
- 3 埋戻前に漏水等がある場合は、必ず排水した後に、埋戻しをしなければならない。

第19条 コンクリート工

コンクリートは下記のとおりとする。

種別	基準強度	スランプ	最大粒径	使用箇所
高炉セメント B種	18N/mm ²	8±2.5cm	20mm	張りコンクリート

第20条 本工事の施工にあたっての施工条件を下記に明示するので、請負者は、施工計画書の作成及び工事施工時において、十分留意するものとする。

なお、明示した施工条件に変更が生じた場合は、契約変更の対象とする。また、工事実施期間中に発生した施工条件についても、甲・乙協議し契約変更の対象とする。

(管内（県内）建設業者の優先使用)

第21条 請負業者は、工事の一部を下請けに付する場合は、北薩地域振興局管内に主たる営業所を有する者を使用するよう努めることとする。

- 2 請負業者は、前項で定めた建設業者を活用しない場合は、施工計画書等の提出と併せて「下請工事における管内建設業者等不活用状況報告書」を監督職員に提出すること。
- 3 請負業者は、工事完成時及び監督員から指示された場合、「下請業者使用実績報告書」を監督員に提出すること。

(県産資材の優先使用について)

第22条 工事に使用する資材については、県内で産出、生産または製造されたもの（以下「県産資材」という。）の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。

- 2 再生切込碎石については、原則として、かごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。

資 材 名	規 格	備 考
再生切込碎石 (かごしま認定リサイクル製品)	RC-40	敷砂利

第23条 再生資源利用計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場合に掲げなければならない。

第24条 工事等の施工にあたって要する物品等の調達について

- 1 資材、機械の購入や借入れ等をする場合は、可能な限り阿久根市内業者を優先して活用すること。
- 2 建設現場内における飲食のほか、現場事務所内で必要とされる事務用品等の購入は可能な限り阿久根市内業者から購入すること。

第25条 本工事は建設リサイクル法に規定されている特定建設資材及び特定建設資材廃棄物が含まれているので、適正な措置を講ずること。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

①分別解体等の方法

(参考)

工 程	作業内容	分別解体等の方法（＊）
工程毎の作業内容・解体方法	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	その他の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

＊「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

②再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離
コンクリート（無筋）	（株）ツカサ	阿久根市鶴川内地内	L=6.8km

＊上記②については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

(建設副産物の処理)

第26条 建設工事の施工により発生する指定副産物（コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、建設発生木材、汚泥等、（建設発生土は除く））のうち、コンクリート殻（無筋）については 30 cm以下に小割りして盛土区間で使用すること。その他については再資源化施設へ搬出すること。また、運搬に先立っては受け入れ条件等を確認し、発注者に報告するものとする。

2 再生資材の利用

請負者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

資 材 名	規 格	備 考
再生碎石	RC-40	敷砂利

なお、使用に際し、「プラント再生舗装技術指針」等を遵守すること。

3 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議の上、その指示によること。

第27条 再生資源利用促進計画

受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設発生汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第28条 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出

本工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録（E票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表(別添様式1)）を工事完成図書に添付すること。

なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。

ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。

(産業廃棄物税)

第29条 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

(建設発生土の処理)

第30条 本工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

- (1) 受入場所の名称：(有)尾崎技研 山下残土処理場
- (2) 受入場所の所在地：阿久根市山下 1809-2 外 22 筆
- (3) 受入時間帯：8 時 00 分～17 時 00 分
- (4) 搬出土の土質：粘性土
- (5) 搬出土量：約 60m³
- (6) 搬出距離、時間：2.0 km（片道）、約 5 分

2 「再生資源利用促進計画書」を作成し、施工計画書に含めて提出するとともにその内

- 容を発注者に説明すること。
- 3 再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲げること。
 - 4 再生資源利用促進計画の記載事項に変更が生じた場合は、速やかに変更し、その内容を発注者に報告すること。
 - 5 工事完成後、速やかに再生資源利用促進計画の実施状況の記録及び「建設発生土受領書」を完成書類に含めて提出すること。
 - 6 再生資源利用促進計画及びその実施状況の記録を工事の完成後5年間保存すること。
 - 7 土質試験が必要な場合は、試験項目や回数について搬出先と双方協議し決定すること。
 - 8 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議の上、その指示によること。

(過積載等の防止)

第31条 ダンプトラック等による過積載等の防止について以下のことを遵守すること。

- (1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。
- (4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。
- (5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下法という)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を生じさせたものを排除すること。
- (7) 第1号から第6号のことにつき、下請契約における請負者を指導すること。

(路上工事縮減期間)

第32条 下記の期間(予定)は、「鹿児島県域の路上工事縮減に関する行動計画」により、緊急対応等やむを得ない工事及び一時的な通行規制解除が困難な工事を除き、原則として路上工事(既に供用中の道路上で行われる、道路管理者及び占用企業者が行う通行規制を伴う工事)を中止することとする。工事中止期間については、予定であるため、詳細な日程が決まり次第、請負者に通知するものとする。

R7年度版

中止する行事等	中止開始(予定)	中止終了(予定)
お盆	令和7年8月8日(金)22時	令和7年8月18日(月)9時
年末年始	令和7年12月26日(金)22時	令和8年1月5日(月)9時

第3章 その他

(暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置)

第33条 阿久根市が発注する建設工事等(以下「市工事等」という。)において、暴力団関係者による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく市(発注者)及び警察に通報すること。市工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより工程に遅れが

生じる等の被害が生じた場合は、市（発注者）と協議を行うこと。

（ヤンバルトサカヤスデのまん延防止）

第34条 ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当たっては、別添「ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について」を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、まん延防止対策を講ずる必要があるため、棲息状況等の調査を行い、監督職員に報告すること。

（工事現場の現場環境改善の実施）

第35条 工事現場の現場環境改善は、地域との積極的なコミュニケーションを図りつつそこで働く関係者の意識を高めるとともに、関係者の作業環境を整えることにより公共事業の円滑な執行に資することを目的とするものである。よって、請負者は施工に際し、この趣旨を理解し発注者と協力しつつ地域との連携を図り、適正に工事を実施するものとする。

- 2 現場環境改善の内容については、[別表－1]の内容のうち原則として各費目ごと（仮設備関係、営繕関係、安全関係、地域とのコミュニケーション）に1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）の合計5項目以上を実施するものとする。
- 3 現場環境改善においては、木製資材の積極的な使用に努めること。
- 4 現場環境改善については具体的な内容、実施時期について、施工計画書に含め提出するものとする。
- 5 工事完了時には、現場環境改善の実施写真を提出するものとする。
- 6 工期設定に関しては、現場環境改善の準備に必要な期間を考慮するものとする。

（熱中症対策に資する現場管理費の補正について）

第36条 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行対象工事である。

- 2 試行にあたっては、「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について（令和3年5月11日付け技術管理室長通知）」に基づき行うものとする。
- 3 「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行については、阿久根市ホームページから取得できる。

（建設現場における「快適トイレ」設置の試行について）

第37条 「快適トイレ」設置について

本工事は、阿久根市の建設現場における「快適トイレ」設置の試行対象工事である。

受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。

快適トイレを設置する場合は、『阿久根市の建設現場における「快適トイレ」設置の試行要領』に基づき行うものとする。なお、試行要領は阿久根市ホームページから取得できる。

（週休2日）

第38条 本工事は、「週休2日」試行工事（受注者希望型）の対象である。

- 2 試行に当たっては、『「週休2日」試行工事実施要領』に基づき行うものとする。
- 3 実施要領は、阿久根市ホームページから取得できる。

[別表－１]

計上費目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実 6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女子更衣室の設置を含む） 2. 労働宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘導警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域とのコミュニケーション	1. 完成予想図 2. 工法説明図 3. 工事行程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献

【別添】

ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について

1 土・樹木等の措置

(1) 発生地区からの搬出を極力抑えることを原則とする。

(2) 廃棄樹木等については、一般廃棄物、産業廃棄物が取扱いが可能な焼却施設で焼却処理する。

一般廃棄物：市町村の所管する焼却施設、業の許可を有している民間の焼却施設

産業廃棄物：業の許可を有している民間の焼却施設（産業廃棄物税が発生します。）

2 工事区域周辺部の措置

周辺部への拡散を防止するため、周辺部に薬剤散布等の措置を行う。

3 やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合の措置

(1) 薬剤処理・薫蒸処理後、搬出する。

(2) 薬剤処理の困難な農作物等の搬出の場合は、付着土壌の除去、目視除去後、搬出する。

4 発生地区に搬入した建設機材や農・林業工作機械の措置

付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出する。

5 未発生地区での措置

発生地区からの土・樹木等の搬入や農・林業工作機械の移動等があった場合は、上記１～３の措置が講じられているかを確認する。

※奄美群島以外でヤンバルトサカヤスデの発生が確認されている地区

H 1 1：南九州市（旧穎娃町、旧知覧町）、

H 1 4：指宿市（旧山川町）、屋久島町（旧屋久町）

H 1 5：鹿児島市（旧吉田町）、日置市（旧吹上町）、枕崎市

H 1 6：鹿児島市

H 1 7：指宿市

H 2 2：出水市、南さつま市

H 2 5：霧島市、阿久根市

H 2 6：鹿屋市、姶良市

H 2 9：長島町

R 0 3：西之表市、中種子町、錦江町

R 0 4：肝付町、薩摩川内市、いちき串木野市、南大隅町

R 0 6：大崎町

(別紙報告書)

安全・訓練等の実施状況報告書

[illegible]

(別紙 1)

工 事 打 合 簿

発議者		☐ 発注者 ☐ 請負者	発議年月日	令和 年 月 日
発議事項		☐ 指示 ☐ 協議 ☐ 通知 ☐ 承諾 ☐ 提出 ☐ 報告 ☐ 届出 ☐ その他（ ）		
工事名			請負者名	
(内 容)				
添付図 葉、そのた添付図書 受領書１式				
処理・回答	発注者	上記について ☐ 指示 ☐ 承諾 ☐ 協議 ☐ 通知 ☐ 受理 します。 ☐ 変更契約の対象とするので、別途変更指示書にて通知します。 ☐ 緊急を要するものであるため、工事打合簿により指示します。 併せて、変更契約の対象となるので、別途変更指示書にて通知します。 ☐ その他（ ）		
	請負者	監督職員 令和 年 月 日 上記について ☐ 了解 ☐ 協議 ☐ 提出 ☐ 報告 ☐ 届出 します。 ☐ その他（ ） 現場代理人 令和 年 月 日		

課長	技術 補佐	総 括 監督員	監督員

現 場 代理人	主 任 技術者

材料使用承認願

工 事 名

請負業者名

工 期

現場代理人 印

路線（河川名）

総括監督員 印

工事箇所名

監 督 員 印

[illegible]

殿

現場代理人の兼任（変更）申請書

記

①兼任する工事 (県土木部工事)	主 任 技 術 者		
	現 場 代 理 人		
	工 事 名		
	工 事 場 所		
	工 期		
	請 負 金 額 (税 込 み)		
	現場代理人不在の間の の 緊 急 連 絡 先	氏 名	
	連 絡 先		
②兼任する他の工事	主 任 技 術 者		
	現 場 代 理 人		
	工 事 名		
	工 事 場 所		
	工 期		
	請 負 金 額 (税 込 み)		
	発 注 機 関 名		
	監 督 員 氏 名		
	発注機関の連絡先		
③兼任する他の工事	主 任 技 術 者		
	現 場 代 理 人		
	工 事 名		
	工 事 場 所		
	工 期		
	請 負 金 額 (税 込 み)		
	発 注 機 関 名		
	監 督 員 氏 名		
	発注機関の連絡先		
工事現場の相互の 距離・移動時間	①-②	km	分
	①-③	km	分
	②-③	km	分

○添付書類：兼任する他の工事の当初契約書（写し）（※契約前の工事については後日提出）
○兼任する他の工事について、兼任の承認をうけていることがわかる書類の写しを後日提出すること

[illegible]

「認定証」サンプル

第4号様式（第6条関係）

認定番号 鹿リ認第 号

かごしま認定リサイクル製品認定証

製品名：RC-40
(品目：土木建築関係製品)

製造者：株式会社

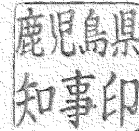
所在地

法人代表者 代表取締役

上記の製品は、かごしま認定リサイクル製品認定制度実施要綱第6条により認定された製品であることを証する。

令和元年10月7日

鹿児島県知事 三反園 訓



認定の年月日	令和元年10月7日
認定の有効期限	令和7年3月31日
製造事業所及び所在地	
製品の原材料となる産業廃棄物の種類	がれき類
配合の比率	コンクリート塊100%
審査に用いた品質基準	鹿児島県土木工事共通仕様書（「第2編材料編 第2章土木工事材料 第3節骨材 2-2-3-3アスファルト舗装用骨材」及び「第3編土木工事共通編 第2章一般施工 第6節一般舗装工 3-2-6-3アスファルト舗装の材料」の再生碎石及び下層路盤材の適合条件）
主な用途	路盤材、基礎材、裏込材、埋戻材
その他	認定リサイクル製品の製造・加工の工程については、鹿児島県のホームページ及び一般社団法人鹿児島県産業資源循環協会のホームページにおいて掲載

【認定制度担当部署】
鹿児島県環境林務部
廃棄物・リサイクル対策課
(リサイクル推進係)

(受領書記載例)

令和〇年〇〇月〇〇日

(搬出元)

株式会社 ○○○建設
○○ ○○ 殿

(搬出先)

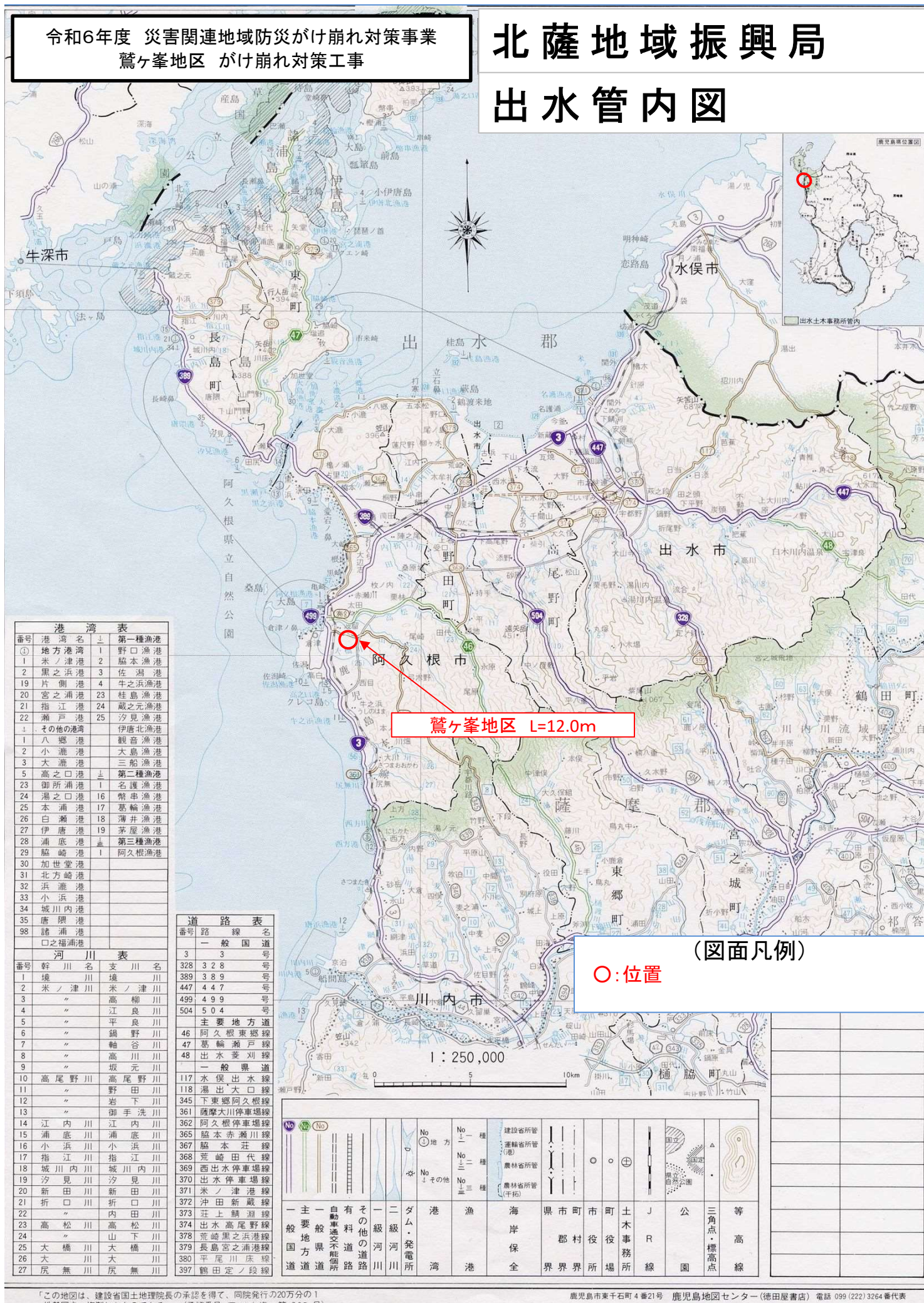
●●●●●処分場
代表取締役 ●● ●●●

建設発生土受領書

- 搬出先の名称及び所在地 : ●●●●●処分場
鹿児島県●●●市○○○町○○番地●地内
- 搬出先の管理者の商号, 名称 : 株式会社 ○○○○○
- 搬出元の名称及び所在地 : 道路改築工事 (●●工区)
鹿児島県●●●市○○○町○○番地●地内
- 土砂の搬出量 : 第1種建設発生土 約○○,○○○m³
- 搬入が完了した日 : 令和〇年〇〇月〇〇日

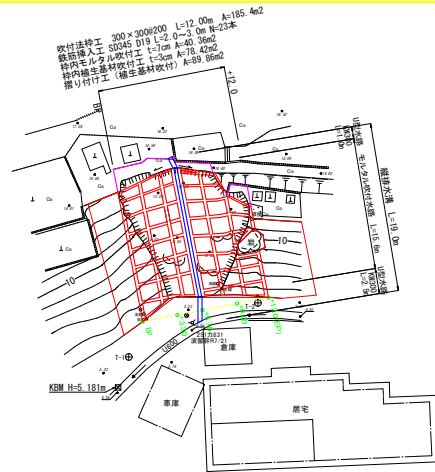
令和6年度 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業
鷺ヶ峯地区 がけ崩れ対策工事

北薩地域振興局 出水管内図

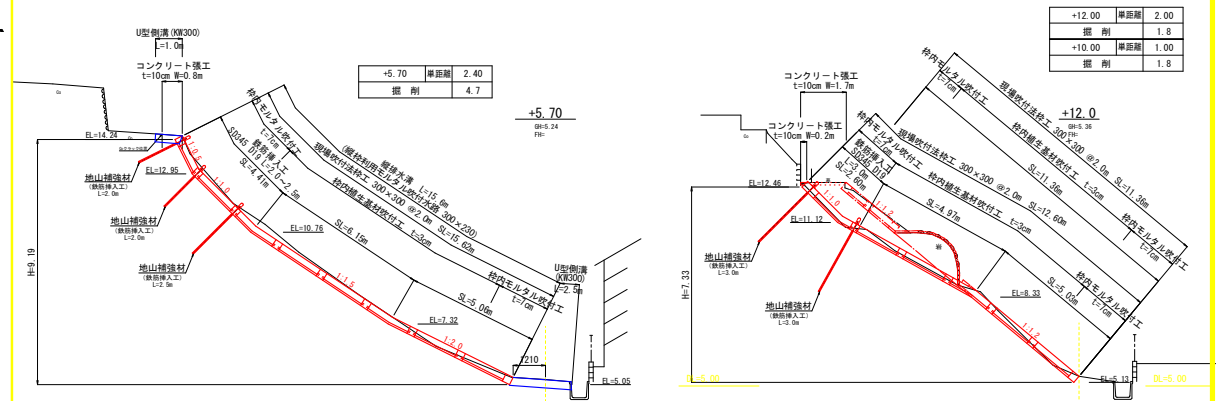


令和6年度 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業 鷲ヶ峯地区 平面図・縦断図・横断図

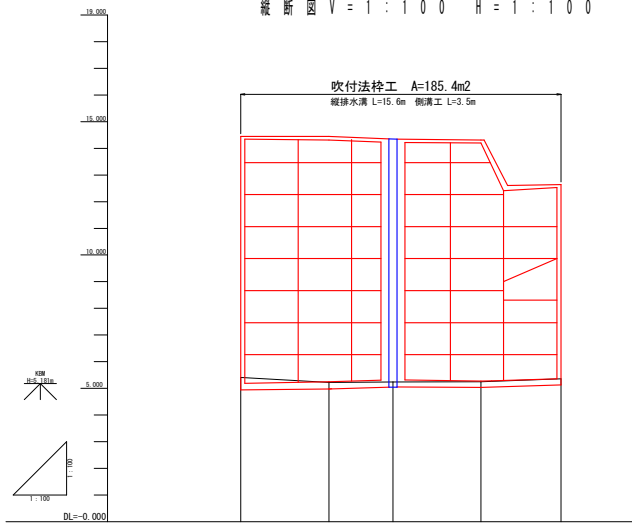
平面图 S = 1 : 2 5 0



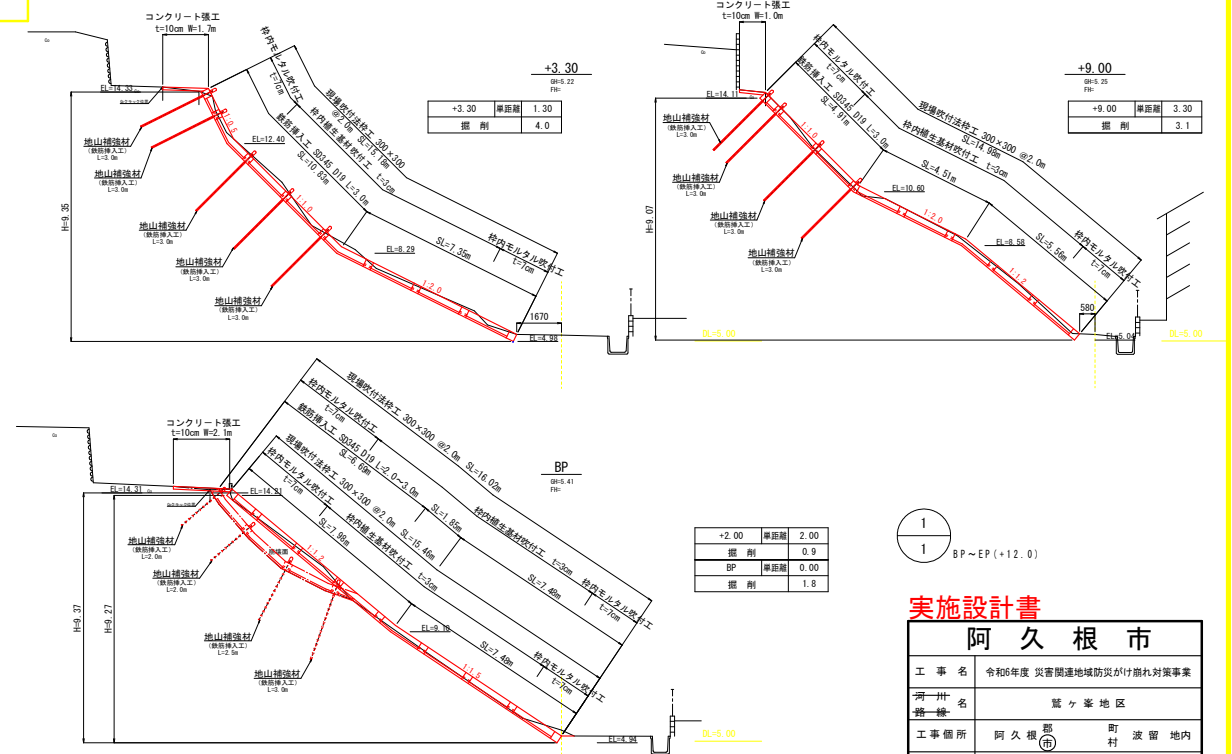
横断図 $S = 1 : 100$



縱斷圖 $V = 1 : 1 \ 0 \ 0$ $H = 1 : 1 \ 0 \ 0$



勾配					
盛土					
切土		0.1	0.1	0.1	0.1
計画高	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1
地盤高	5.4	5.1	5.1	5.1	5.1
追加距離	20.00	20.00	20.00	40.00	50.00
単距離	0	0	0	2	0
測点	1	0	0	0	0



実施設計書

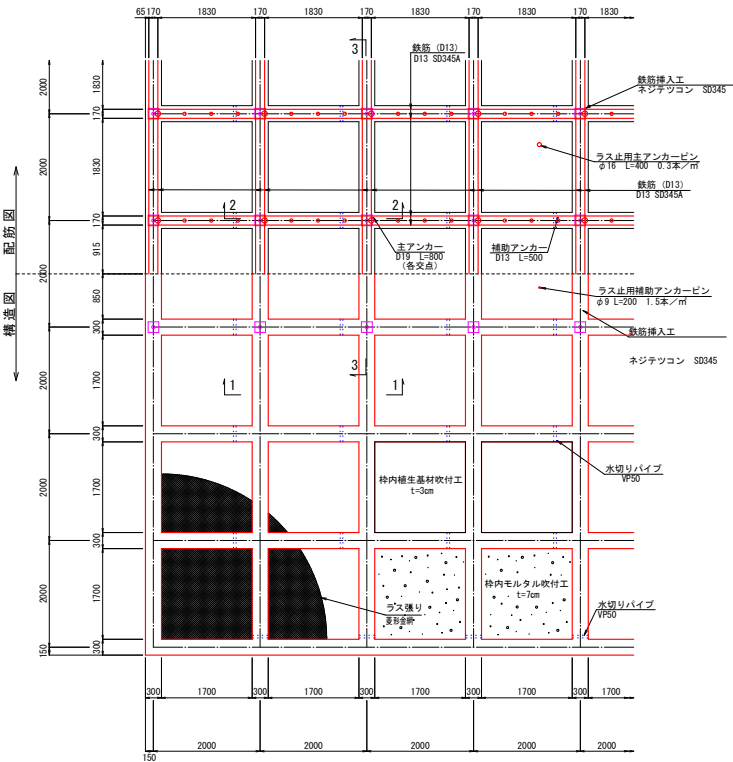
阿久根市

工 事 名	令和6年度 災害関連地域防災に付崩れ対策事業		
河川 路線	荒ヶ峯地区		
工事箇所	阿久根 市	郡 町 波留内村	
図面種類	平面図	縦断面図	横断面図
縮 尺	縮尺＝図示		
図面番号	全	5	葉 第 1 号

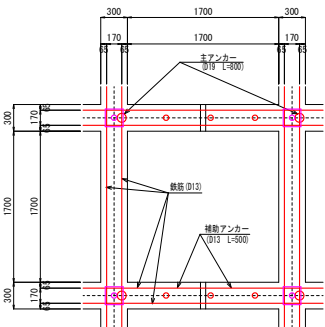
$$V=35.25+16.07=51.32\text{m}^3$$

令和6年度 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業 鷲ヶ峯地区 構造図その2
吹付法枠工

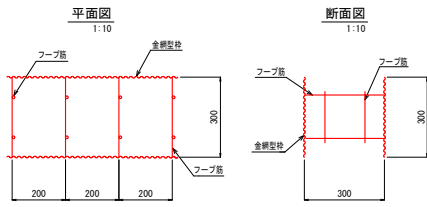
吹付法枠工標準図
F300 (FMタイプ) 2000×2000 縮尺=1:50



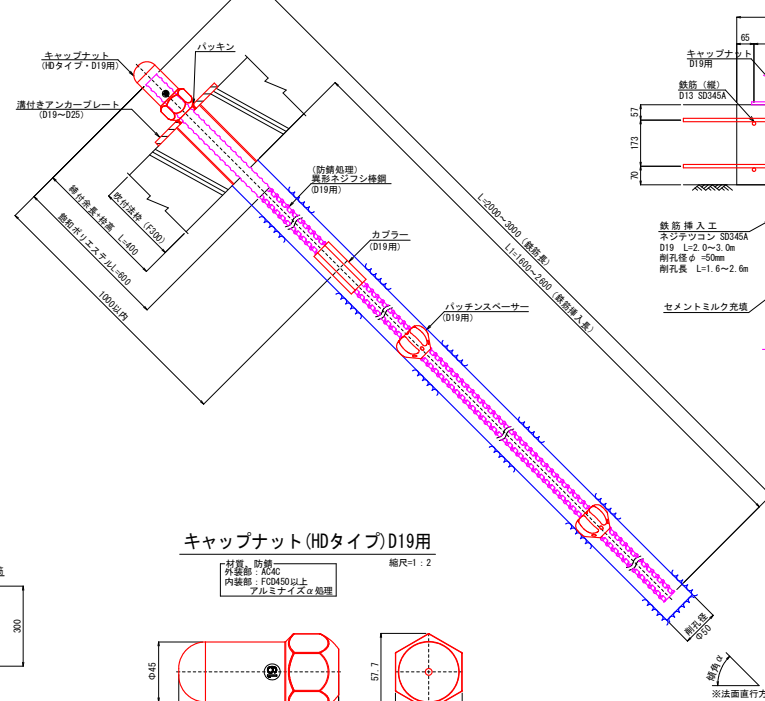
配筋拡大図
縮尺=1:30



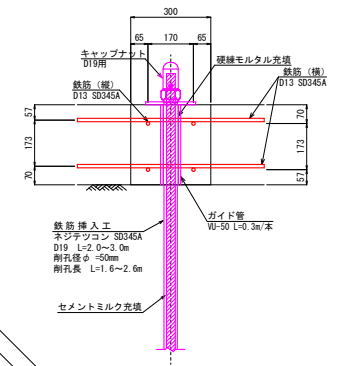
ユニット式フリーフォーム標準図
(FM300タイプ) 縮尺=1/10



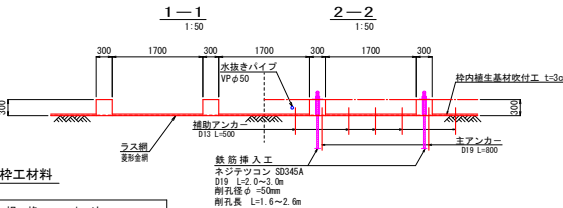
キャップナット・ロックボルトシステム
D19 (キャップナット (HDタイプ)・ロックボルト・カプラー・パッチスパーサー)
(吹付法枠300) 縮尺=1:10



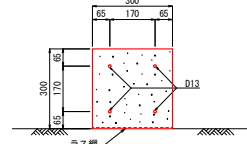
詳細断面図
縮尺=1:10



標準横断面図
縮尺=1:50

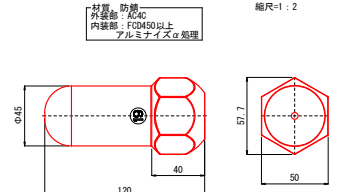


梁断面図
縮尺=1:10

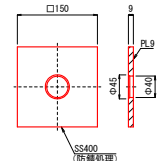


項目	規格・寸法
吹付法枠	h300×b300 2000×2000
設計基準強度	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
鉄筋	D13 (主筋)
主アンカー	D19 L=800 各交点
補助アンカー	D13 L=500 横梁のみ
ラス張り	菱形金網 網目2.0mm 網目50mm
枠内処理	枠内モルタル吹付工 t=7cm (最下段、上段2段) 枠内養生基材吹付工 t=3cm (中間部)
水抜きパイプ	VPφ50 L=300

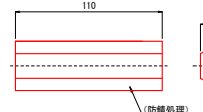
キャップナット (HDタイプ) D19用
縮尺=1:2



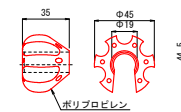
溝付きアンカープレート
(10 補正用 D19~D25) 縮尺=1:5



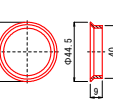
カプラー
(D19用) 縮尺=1:2



パッチスパーサー
(D19用) 縮尺=1:1



バックシン
(D19~D25) 縮尺=1:1



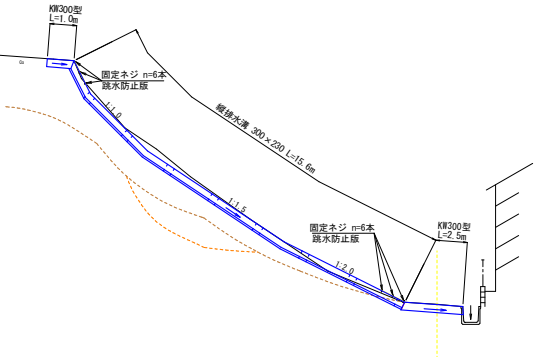
実施設計書

阿久根市	
工事名	令和6年度 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業
河川名	鷲ヶ峯地区
路一般	阿久根市 町 波留 地内
工事箇所	(市) 阿久根市 町 波留 地内
図面種類	構造図その2 (法面工詳細図)
縮尺	縮尺=図示
図面番号	全 5 葉 第 3 号

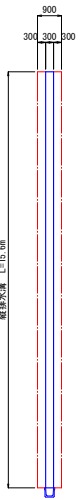
令和6年度 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業 鷲ヶ峯地区 構造図その3

縦排水溝

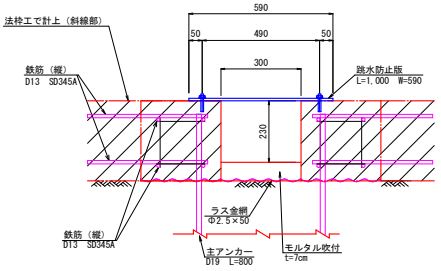
側面図
+5.70 S=1:100



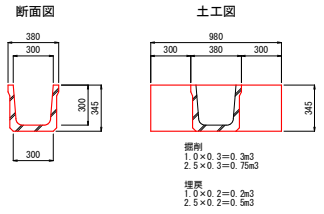
正面図
S=1:100



詳細断面図
S=1:10



U型側溝
S=1:20

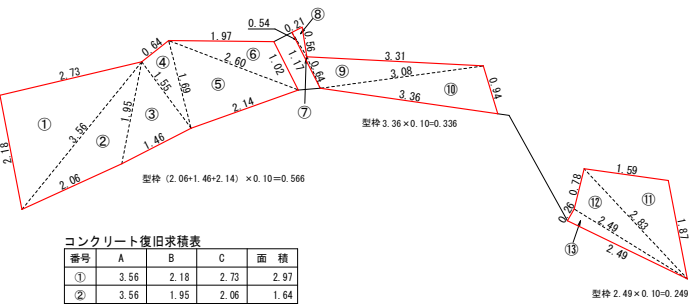


縦排水溝300型材料表			1.0式当り	
名称	摘要	計算式	数量	単位
吹付モルタル	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$0.30 \times 15.60 \times 4.68$ (V=4.68 $\times$ 0.07=0.33m ³)	4.7	m ³
跳水防止版	ウレタンライ	300用 L=1.000 W=590	2.0	枚
固定ネジ	M12 $\times$ 47 $\times$ 7 $\times$ 1	2 $\times$ 6本/枚=12	12.0	本

材料表			10m当り	
名称	摘要	計算式	数量	単位
躯体	300 $\times$ 300	L=2000	10.00	m
掘削		0.3 $\times$ 10.00	3.00	m ³
埋戻		0.2 $\times$ 10.00	2.00	m ³
基底整正		0.30 $\times$ 10.00	3.00	m ²

側溝延長 L=1.0 $\times$ 2.50=3.50m
土砂 V=(0.3 $\times$ 0.2) $\times$ 3.50=0.35m³

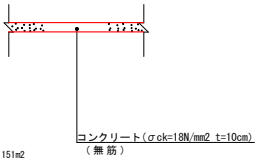
コンクリート復旧求積図
S=1:50



番号	A	B	C	面積
①	3.56	2.18	2.73	2.97
②	3.56	1.95	2.06	1.64
③	1.95	1.55	1.46	1.12
④	1.55	0.64	1.69	0.50
⑤	1.69	2.60	2.14	1.80
⑥	2.60	1.97	1.02	0.89
⑦	1.17	0.54	0.64	0.04
⑧	0.54	0.21	0.56	0.06
⑨	3.31	3.08	0.64	0.95
⑩	3.36	3.08	0.94	1.43
⑪	2.83	1.59	1.87	1.40
⑫	2.49	0.78	2.83	0.92
⑬	2.49	0.26	2.49	0.32
計				14.04

V=14.04 $\times$ 0.10=1.40m³
型枠 0.566 $\times$ 0.336 $\times$ 0.249=1.151m²

舗装構成
S=1:20

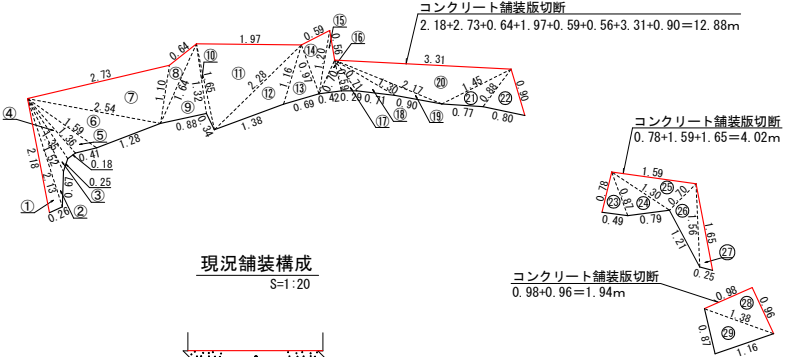


コンクリート復旧求積表

番号	A	B	C	面積
①	2.18	0.26	2.13	0.27
②	2.13	0.67	1.52	0.25
③	1.52	0.25	1.35	0.13
④	1.35	0.18	1.36	0.12
⑤	1.36	0.41	1.59	0.25
⑥	1.59	1.28	2.54	0.84
⑦	2.54	1.10	2.73	1.40
⑧	1.10	1.64	0.64	0.23
⑨	1.64	0.88	1.32	0.58
⑩	1.32	0.34	1.64	0.08
⑪	1.65	2.28	1.97	1.59
⑫	2.28	1.38	1.16	0.64
⑬	1.16	0.69	0.97	0.33
⑭	0.97	1.20	0.59	0.28
⑮	1.20	0.70	0.56	0.11
⑯	0.70	0.42	0.59	0.12
⑰	0.59	0.29	0.71	0.08
⑱	0.71	0.71	1.30	0.19
⑲	1.30	0.90	2.17	0.19
⑳	2.17	1.45	3.31	1.18
㉑	1.45	0.77	0.88	0.28
㉒	0.88	0.80	0.90	0.32
㉓	0.78	0.49	0.87	0.19
㉔	0.87	0.79	1.30	0.33
㉕	1.30	0.70	1.59	0.45
㉖	0.70	1.21	1.56	0.41
㉗	1.56	0.25	1.65	0.19
㉘	0.98	1.38	0.96	0.47
㉙	1.38	0.87	1.16	0.50
計				12.00

面積=√(S $\times$ (S-a)(S-b)(S-c))
S=(a+b+c)/2
V=12.00 $\times$ 0.10=1.20m³

コンクリート取壊求積図
S=1:50



現況舗装構成
S=1:20



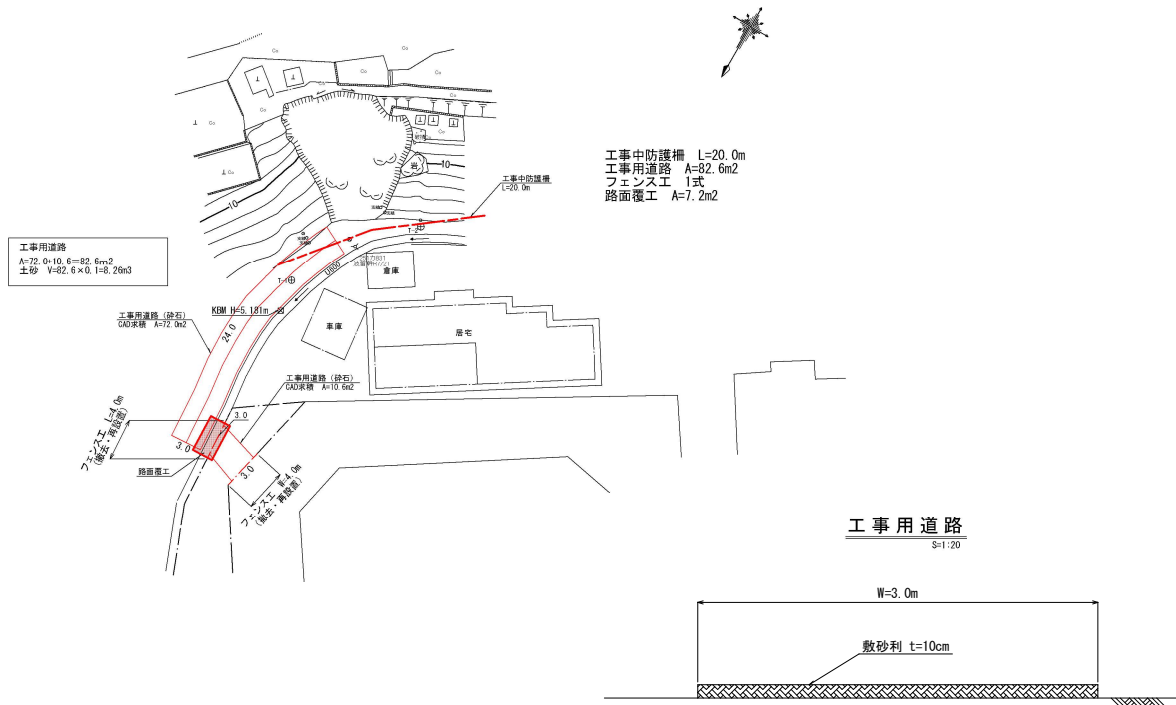
実施設計書

阿久根市	
工事名	令和6年度 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業
河川・路一般名	鷲ヶ峯地区
工事箇所	阿久根市 町 波留地内
図面種類	構造図その3 (側溝・コンクリート復旧撤去)
縮尺	縮尺=図示
図面番号	全 5 葉 第 4 号

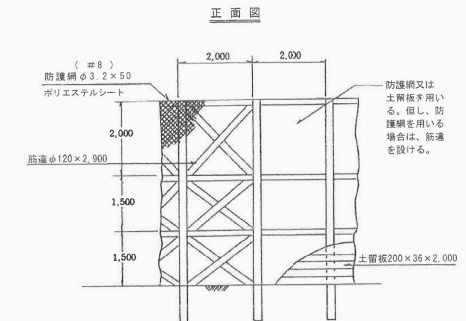
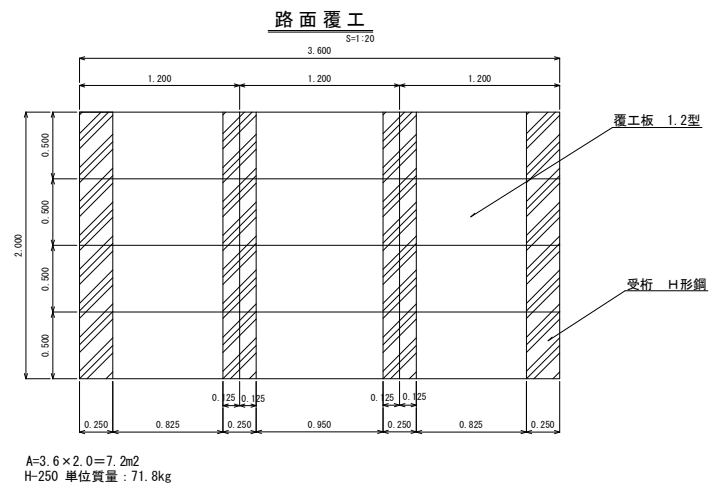
令和6年度 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業 鷲ヶ峯地区 仮設工

工事中防護柵工

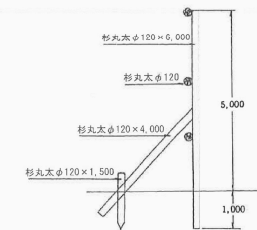
平面图 S = 1 : 2 5 0



工事用道路



側面図



工事中防護柵工		1.0m高材料柵	
種 別	材 料 規 格	数 量	単 価
主 柱	杉丸太 L=6.0m φ120mm 5本	0.505	m3
横 梁	杉丸太 L=4.0m φ120mm 7.5本	0.435	m3
障 木	杉丸太 L=4.0m φ120mm 5本	0.230	m3
障 杭	杉丸太 L=1.5m φ120mm 5本	0.110	m3
土 庫 板	杉 板 厚50mm 200×200×3.6 125枚	1.750	m2

実施設計書

久根市	
工事名	令和6年度 災害関連地域防災がけ落れ対策事業
河川 名称	笠ヶ峯地区
工事箇所	久根町 新 渡留 地内 (市)
図面種類	仮設工
縮尺	縮尺＝図示
図面番号	全 5 葉 第 5 号